



《新・尼崎の本棚 100》

塚口神社(母の遺言の石燈籠)

阪急塚口駅より北へ8分程歩いた場所に塚口神社(塚口本町2丁目)があります。旧塚口村の氏神で創祀は明らかではありませんが、天平年間(奈良時代、729~749年)に行基菩薩が各地を巡り教をひろめている際、守護神としてお祀りされたのがはじめと伝えられています。以前は塚口須佐男神社と呼ばれており「スサノオ社」の一つでしたが、昭和になってから現社名に変更されました。社殿は昭和48年新築されたもので、表参道入口に立つ鳥居があり、その左右に約4mほどの石燈籠があります。この石燈籠は鴻池村(現伊丹)出身の武田武兵衛によって奉納されたもので逸話が残されています。

明治初頭、武兵衛はその母と神社の近くで薬問屋を営み暮らしていました。しかし、明治10(1877)年勃発した西南戦争に武兵衛も官軍として参戦します。母親は塚口神社にお百度参りを行い息子の無事を祈りました。ところが武兵衛は田原坂の戦いで、腹と肩に銃弾を受け、谷底に落下し意識が朦朧とします。夢の中で武兵衛は深い井戸に吸い込まれますが、腰に糸が巻き付き母親と白衣の武将がその糸を手繰り寄せていました。武兵衛は離してほしいと頼みますが、母親は泣きながら拒絶しました。その後、武兵衛は無事に快復し母親のお百度参りが満願した日に凱旋しました。このことに感謝した武兵衛の母親の遺言により、明治19年1月に石燈籠が奉納され、今も鳥居の前に建っているということです。

(参考:『尼崎百物語』大江篤/編 神戸新聞総合出版センター)

◆ 虫の日

6月4日は「6(む)4(し)」の語呂合わせで虫の日とされています。昆虫は日本だけでも約3万種、世界には約100万種、まだ見つかっていない種も合わせると500万種以上も生息していると推測されています。これまで発見された動物のうち8割以上が昆虫と言われており、地球上の生き物の中で大きな割合を占めていることが分かります。昆虫は人類が現れる遙か昔、4億年以上前に地球上に出現し、時間と共に様々な系統に分かれ、姿かたちも様々なものになっていきました。昆虫の体は頭部、胸部、腹部に分かれ、足は3対あるのが特徴です。この特徴に当てはまらないダンゴムシ、ムカデ、ヤスデ、クモ、サソリなどは昆虫に分類されていません。虫がここまで多種多様になったのは過酷な環境でも強い繁殖力と適応力を身に付け進化を遂げているからです。彼らの生存戦略は興味深く、身近にいる昆虫から発見できることがあるかもしれません。

(参考:『Why?昆虫のなぜ』イグワンウン/著 学研教育出版)

● 「昆虫」についてならこんな本●

- 『くらべてわかる昆虫』永幡嘉之/著 山と溪谷社 212116007
- 『虫ぎらいはなおるかな?』金井真紀/著 理論社 212178117
- 『じゅえき太郎のゆるふわ昆虫大百科』じゅえき太郎/著 実業の日本社 221858662

＜図書館の休館日＞ 印の日はお休みです

6月

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	20	21	22	23	24	25
⑳	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	12	13	14	15	16
⑰	⑱	19	20	21	22	23
⑳	25	26	27	28	29	30
⑳	31					



6月:水無月(みなづき)
 農事がすべて済んだので「みなし月」、日照りが続いて暑いので「水無し月」、稲の実がふくらむ時期の「実の成り月」が「みな月」になった、などの説がある。
 誕生石:真珠、ムーンストーン、アレキサンドライト
 時候:初夏、梅雨、入梅、立夏、早乙女

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)



本の修理工房



【日時】 6月25日(土) 10:00~12:00
【場所】 北図書館 3階集会室
【対象】 中学生以上の大人の方
【定員】 先着10名
【申込】 6月9日(木)から
1階カウンター、または電話にて受付

一緒に本を修理してみませんか？
ブックコーティングや簡単な修理体験ができます！

※ 当日はマスク着用の上ご参加ください。
また、会場入り口にて検温を行います。

修理工房 <出張所>

【期間】 5月27日(金)~6月29日(水)
【場所】 北図書館 1階ロビー

汚れや水濡れなどの、状態の悪くなった本を展示します。

※ 展示本は貸出できませんので
ご注意ください。

雨の多い季節です 本が濡れないようお気をつけください

北図書館では雨の日、カウンターにビニール袋を用意しています。
お気軽にお使いください。

また、ご来館の途中で突然雨が降る場合もあります。移動の際、雨で本が濡れないようご協力をお願いします。
万が一、濡れ・傷みがひどい場合は同じ本での弁償をお願いしています。

※ 借りた本に破損等ありましたら、ご返却の際にスタッフにお知らせ
ください。図書館で修理等させていただきます。

次の方が気持ちよく読めるよう、ご協力をお願いいたします。

<6月展示のご案内>

一般大展示 「時間」
2階展示 「^{みほ}思わず見惚れる表紙たち」



- ◆ 急遽イベントを中止、または延期する場合があります。
- ◆ ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願い致します。

大人のための朗読会

【日時】 6月15日(水) 午後2時から1時間ほど
【場所】 3階 集会室
【内容】 『政と源』より 三浦 しをん/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 芦辺拓

1958年～大阪府生まれ。同志社大学卒。『殺人喜劇の13人』で鮎川哲也賞受賞。ほかの著書に『紅楼夢の殺人』『からくり灯籠五瓶劇場』『綺想宮殺人事件』『スチームオペラ』『帝都探偵大戦』など多数。

『殺しはエレキテル』

芦辺 拓[著]/光文社

異国からの舶来品を扱う店が軒を連ね、老舗が商いを競う伏見町。学問で身を立てようと田舎から出てきた平田箕四郎は、店先でエレキテルの実演に出くわすが……。曇斎(どんさい)先生こと橋本宗吉と箕四郎らが数々の奇怪な事件に奔走する。『小説宝石』掲載をまとめて単行本化。

『本格ミステリーを語ろう! 海外篇』

芦辺 拓ほか[編著]/原書房

芦辺拓・有栖川有栖・小森健太郎・二階堂黎人の四人が集い、各々のミステリーとの出会いや海外ミステリー黄金期の隆盛、現代の本格ミステリーまでを語り尽くす。二泊三日の合宿によって実現した、ミステリーの旗手達による楽しい読書案内。巻末に「路標的海外名作推理一覧」を掲載。

『おじさんのトランク』

芦辺 拓[著]/光文社

高校時代の友人の訃報を聞き、地元に戻った私は、思いがけず“おじさん”の遺したトランクを手に入れた。名前も間柄も不明の、遠縁だと思っていた彼の遺留品を手掛かりに、私は“おじさん”の人生を探る旅に出る。彼はいったい「誰」だったのか……。郷愁あふれる幻想譚。

『少年少女のためのミステリー超入門』

芦辺 拓[著]/岩崎書店

どれもこれも面白そう、でも数も種類も多すぎるミステリー作品。どこから読めばいいのか迷うあなたへおくる一冊。『緋色の研究』から『ビブリア古書堂の事件手帖』まで、ミステリーの長い歴史にそって著者が選んだバラエティ豊かな8冊を時代順に紹介する。【小学5～6年生から】

読売新聞大阪本社に勤めながら、1986年に本名の小畠逸介(こばた としゆき)名義で執筆した「異類五種」が第2回幻想文学新人賞に佳作入選。1990年に芦辺拓名義の『殺人喜劇の13人』で第1回鮎川哲也賞を受賞し、デビュー。1994年に勤めを辞めて専業作家となる。妻はピアニストの風呂本佳苗。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざのうえ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年くらい) 午後2:40~

6/4 (土)

● おひざのうえ
 「だれのかさかな?」
 「みゃーんみゃーん」

○ 小さい人

「あめふりうさぎ」
 「おおかみと七ひきの子やぎ」

◎ 大きい人

「ゆらゆらばしのうえて」
 「文福茶釜」

6/11 (土)

● おひざのうえ
 「あめかな!」
 「ちいさいももちゃん
 あめこんこん」

○ 小さい人

「からすのおかしやさん」
 「さるじぞう」

◎ 大きい人

「このかみなあに」
 「ハチミツの好きなキツネ」

6/18 (土)

● おひざのうえ
 「はくしゅぱちぱち」
 「うしろにいるのだから」

○ 小さい人

「バルボンさんのおさんぽ」
 「世界でいちばんきれいな声」

◎ 大きい人

「ぼく、あめふりお」
 「だんごどっこいしょ」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー
 6/1(水)、6/15(水)
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



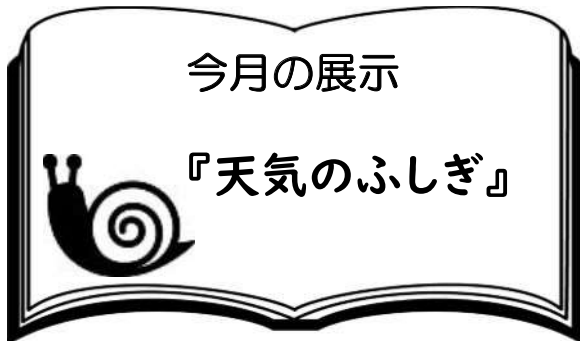
第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー
 2歳くらいから

6/12(日)、6/26(日)
 午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

6月



今月の展示

『天気のおしぎ』

日	月	火	水	木	金	土
			1 🐰	2	3	4 🐶
5	6	7	8	9	10	11 🐶
12 🐻	13	14	15 🐰	16	17	18 🐶
19	20	21	22	23	24	25
26 🐻	27	28	29	30		